

長崎県年齢別推計人口調査結果(平成30年10月1日現在)

長崎県県民生活部統計課

1 県 人 口

平成30年10月1日現在の本県の推計人口は、1,339,438人(男629,195人・女710,243人)で、昨年と比べて14,112人(男6,271人・女7,841人)減少している。

年齢3区分別に見ると年少人口(0~14歳)が169,989人(県人口の12.8%)、生産年齢人口(15~64歳)が735,484人(同55.3%)、老年人口(65歳以上)が423,907人(同31.9%)となっており、総人口に占める割合を前年と比べると、年少人口は前年から変わらず、生産年齢人口は0.7ポイントの減少、老年人口は0.7ポイントの増加となっている。

表1-1 県・市部・郡部人口の前年との比較 (単位:人)

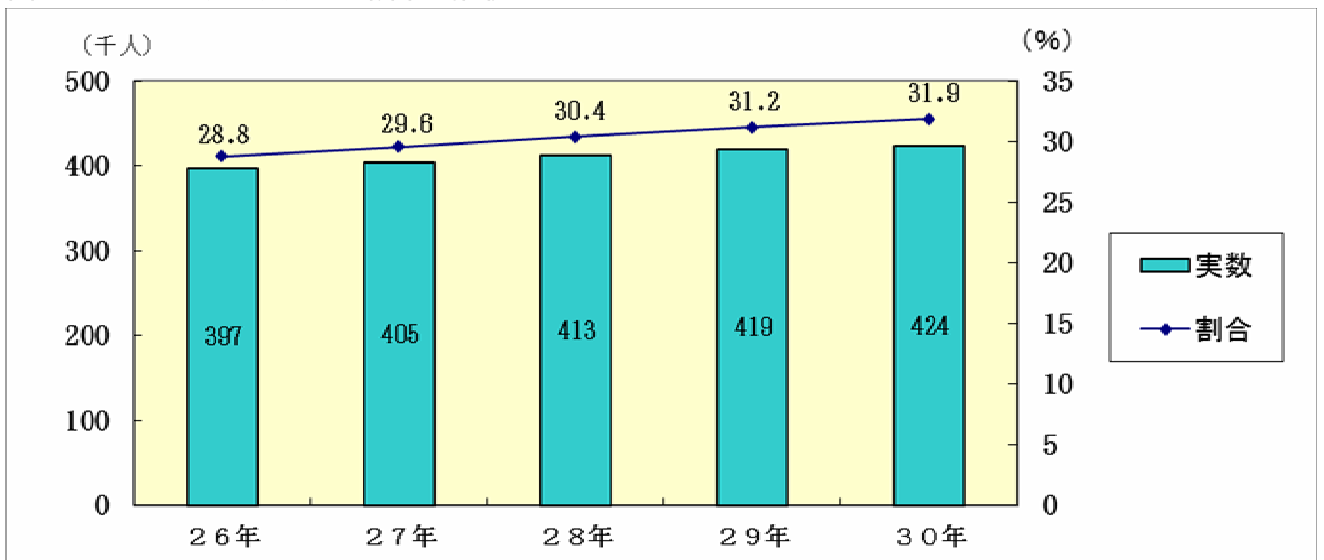
	平成30年10月1日			平成29年10月1日		
	計	男	女	計	男	女
長崎県計	1,339,438	629,195	710,243	1,353,550	635,466	718,084
市部計	1,197,007	561,728	635,279	1,209,784	567,382	642,402
郡部計	142,431	67,467	74,964	143,766	68,084	75,682

表1-2 年齢3区分割合の推移(各年10月1日現在) (単位:人、%)

	0~14歳		15~64歳		65歳以上	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
26年	182,236	13.2	799,397	58.0	397,260	28.8
27年	177,562	13.0	784,862	57.4	404,686	29.6
28年	175,084	12.9	768,673	56.7	412,690	30.4
29年	172,403	12.8	751,829	56.0	419,253	31.2
30年	169,989	12.8	735,484	55.3	423,907	31.9

注)割合は総数から不詳を除いて算出

図1 65歳以上人口と割合の推移



2 市部・郡部別人口

平成30年10月1日現在の県の本県の推計人口を市部・郡部別に見ると、市部人口は1,197,007人(男561,728人、女635,279人)、郡部人口は142,431人(男67,467人、女74,964人)で、前年と比べて、市部人口は12,777人減少、郡部人口は1,335人の減少となっている。

県人口に占める割合は市部89.4%、郡部10.6%となっている。

年齢3区分を市部・郡部別に見ると、市部では年少人口が150,289人(市部人口の12.7%)、生産年齢人口が655,705人(同55.2%)、老年人口が381,261人(同32.1%)で、郡部では年少人口が19,700人(郡部人口の13.9%)、生産年齢人口が79,779人(同56.1%)、老年人口が42,646人(同30.0%)となっている。

また、年齢3区分を前年と比べると年少人口は市部、郡部ともに前年から変わらず、生産年齢人口は市部、郡部ともに0.7ポイントの減少、老年人口は市部、郡部ともに0.7ポイントの増加であった。

表2 年齢3区分別推計人口

(単位:人、%、ポイント)

	0～14歳			15歳～64歳			65歳以上		
	人数	割合	対前年増	人数	割合	対前年増	人数	割合	対前年増
長崎県計	169,989	12.8	0.0	735,484	55.3	0.7	423,907	31.9	0.7
市部計	150,289	12.7	0.0	655,705	55.2	0.7	381,261	32.1	0.7
郡部計	19,700	13.9	0.0	79,779	56.1	0.7	42,646	30.0	0.7

3 市町別人口

県人口を市町別に見ると、長崎市が416,419人で最も多く、次いで佐世保市の249,628人、諫早市の135,285人と続いている。また、増減については、大村市(626人)、佐々町(80人)の1市1町で増加し、長崎市(5,193人)、佐世保市(2,075人)、諫早市(1,145人)、南島原市(941人)、島原市(675人)など12市7町で減少した。

表3 前年との増減数

増加(2市町)		減少(上位5市町)	
大村市	626	長崎市	5,193
佐々町	80	佐世保市	2,075
		諫早市	1,145
		南島原市	941
		島原市	675

4 老年人口

市町別に老年人口の割合を見ると、小値賀町(48.6%)が最も多く、以下新上五島町(40.7%)、平戸市(39.9%)、五島市(39.7%)、南島原市(39.2%)、壱岐市(37.4%)、西海市(37.4%)、対馬市(36.5%)、東彼杵町(36.5%)、松浦市(35.9%)、島原市(34.7%)、雲仙市(34.2%)と続き、16市町が30%を超えている。

一方、最も低いのは大村市(24.7%)で、次いで時津町(25.4%)、長与町(26.1%)と続いており、全ての市町で前年と比べ、老年人口の割合は上昇している。

表4 老年人口の割合

(単位:%)

割合が高い上位5市町		割合が低い上位5市町	
小値賀町	48.6	大村市	24.7
新上五島町	40.7	時津町	25.4
平戸市	39.9	長与町	26.1
五島市	39.7	佐々町	27.7
南島原市	39.2	諫早市	29.6

表 5 - 1 市町別の年齢（3区分）別人口と割合

(単位:人、%)

市 町 名	総 数	人 口				割 合		
		0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上	不詳	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上
長 崎 県 計	1,339,438	169,989	735,484	423,907	10,058	12.8	55.3	31.9
市 部 計	1,197,007	150,289	655,705	381,261	9,752	12.7	55.2	32.1
郡 部 計	142,431	19,700	79,779	42,646	306	13.9	56.1	30.0
長崎市	416,419	48,102	231,784	129,865	6,668	11.7	56.6	31.7
佐世保市	249,628	32,673	138,587	76,549	1,819	13.2	55.9	30.9
島原市	43,903	5,606	23,020	15,245	32	12.8	52.5	34.7
諫早市	135,285	18,329	76,898	40,034	24	13.6	56.9	29.6
大村市	94,460	15,184	55,694	23,291	291	16.1	59.1	24.7
平戸市	30,242	3,560	14,609	12,063	10	11.8	48.3	39.9
松浦市	22,272	2,831	11,444	7,979	18	12.7	51.4	35.9
対馬市	29,913	3,644	15,345	10,915	9	12.2	51.3	36.5
壱岐市	25,841	3,419	12,751	9,668	3	13.2	49.3	37.4
五島市	35,429	3,820	17,485	14,006	118	10.8	49.5	39.7
西海市	27,291	2,939	13,736	9,963	653	11.0	51.6	37.4
雲仙市	42,472	5,203	22,731	14,506	32	12.3	53.6	34.2
南島原市	43,852	4,979	21,621	17,177	75	11.4	49.4	39.2
西 彼 杵 郡	71,630	10,751	42,303	18,416	160	15.0	59.2	25.8
長与町	41,913	6,133	24,757	10,889	134	14.7	59.3	26.1
時津町	29,717	4,618	17,546	7,527	26	15.6	59.1	25.4
東 彼 杵 郡	36,226	4,694	19,659	11,763	110	13.0	54.4	32.6
東彼杵町	7,921	863	4,163	2,892	3	10.9	52.6	36.5
川棚町	13,691	1,817	7,418	4,371	85	13.4	54.5	32.1
波佐見町	14,614	2,014	8,078	4,500	22	13.8	55.4	30.8
北 松 浦 郡	16,132	2,489	8,672	4,969	2	15.4	53.8	30.8
小値賀町	2,390	199	1,030	1,161	0	8.3	43.1	48.6
佐々町	13,742	2,290	7,642	3,808	2	16.7	55.6	27.7
南 松 浦 郡	18,443	1,766	9,145	7,498	34	9.6	49.7	40.7
新上五島町	18,443	1,766	9,145	7,498	34	9.6	49.7	40.7

割合は総数から不詳を除いて算出

表5 - 2 市町別の年齢構成指数

市町名	年 齢 構 成 指 数			
	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
長崎県計	23.1	57.6	80.7	249.4
市部計	22.9	58.1	81.1	253.7
郡部計	24.7	53.5	78.1	216.5
長崎市	20.8	56.0	76.8	270.0
佐世保市	23.6	55.2	78.8	234.3
島原市	24.4	66.2	90.6	271.9
諫早市	23.8	52.1	75.9	218.4
大村市	27.3	41.8	69.1	153.4
平戸市	24.4	82.6	106.9	338.8
松浦市	24.7	69.7	94.5	281.8
対馬市	23.7	71.1	94.9	299.5
壱岐市	26.8	75.8	102.6	282.8
五島市	21.8	80.1	102.0	366.6
西海市	21.4	72.5	93.9	339.0
雲仙市	22.9	63.8	86.7	278.8
南島原市	23.0	79.4	102.5	345.0
西彼杵郡	25.4	43.5	68.9	171.3
長与町	24.8	44.0	68.8	177.5
時津町	26.3	42.9	69.2	163.0
東彼杵郡	23.9	59.8	83.7	250.6
東彼杵町	20.7	69.5	90.2	335.1
川棚町	24.5	58.9	83.4	240.6
波佐見町	24.9	55.7	80.6	223.4
北松浦郡	28.7	57.3	86.0	199.6
小値賀町	19.3	112.7	132.0	583.4
佐々町	30.0	49.8	79.8	166.3
南松浦郡	19.3	82.0	101.3	424.6
新上五島町	19.3	82.0	101.3	424.6

全 国	20.5	46.3	66.8	225.4
------------	-------------	-------------	-------------	--------------

「全国」 - 総務省統計局「人口推計」平成29年10月1日現在

年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
$= \frac{0-14歳人口}{15-64歳人口} \times 100$	$= \frac{65歳以上人口}{15-64歳人口} \times 100$	$= \frac{(0-14歳人口) + (65歳以上人口)}{15-64歳人口} \times 100$	$= \frac{65歳以上人口}{0-14歳人口} \times 100$

各指数は分母の年齢の人100人に対し分子の年齢の人が何人いるかを表している。

例えば従属人口指数は、15~64歳の生産年齢人口100人に対して、0~14歳また65歳以上の従属人口が何人いるかを表し、働き手が支えている働いていない人の数の参考などに用いられている。